

第6回日本伝道会議 プロジェクト「ファミリーミニストーリー」
高齢者事例発表

高齢者生活支援事業「みそのホーム」

ケアプランセンター管理者 柄 光子

①目的：

クリスチャン高齢者が信仰を持って最期の時まで安心して生活できるホームを作りたいという願いを持って立ち上げた。高齢者・^{がい}障害者が互いに支え合って、人生の最後の日まで生きがいのある日々を送るこの出来る環境を提供し、地域に密着した高齢者福祉の向上に寄与することを目的とする。

②始めた年：2012年 通所介護（デイサービス）からスタート。

2015年 高齢者生活支援事業をスタート。

③始めるための備え：牧師夫人2人、クリスチャン看護師1人の祈りから始まった。

近畿一円のつながりのある教会にアンケート実施。そこから、祈り会が生まれ、それを母体に後援会ができ、2012年に一般社団法人設立。

④かかわっているスタッフ：キリストの愛にならって、喜ぶものとともに喜び、悲しむものとともに悲しむ介護を目指します”をモットーにキリストの精神に基づいて介護に当たるスタッフは、全員クリスチャンです。毎朝祈りとともに業務をスタートします。

⑤会の内容：

デイサービスの利用者は、月曜から土曜日まで平均7名、宿泊施設のご利用者は、3名です。どのような状況になってもご利用者に寄り添い、少人数だから出来る手厚いケアを提供できるようスタッフ一同日々真摯に、前向きに、明るく研鑽に励んでいる。

毎日の生活の中での一番のお楽しみは、なんと言っても三度の食事。栄養士と調理師が頭をひねって献立を作り、三度三度スタッフが手作りで食事を作っている。利用者さんと一緒に作るメニューもある。日々の生活にメリハリをもたらすものは、レクレーション！ケーキ教室、音楽療法、お茶会、絵手紙教室、日本舞踊、お習字、クラフト教室等々レクプログラムにも力を入れている。

⑥現在必要だと感じていること（失敗だったなあとすることも含めて）

御多分に漏れず財政的に余裕がないこと。しかし、主が必要を満たしてくださる。